

行ってこーわい 会ってこーわい

「喜安 興さん」

伝統と新しい思考を融合
自宅の古民家を再生し後世へ

No. 82

築103年の古民家を建築家、職人や学生と共に後世へ。喜安興さん=恵久美=の古民家は、1年以上かけ伝統と新しい思考が融合した家に再生しました。

「職人の皆さんは、過去の職人の仕事にふれ刺激を受けたと言っていました。私自身も何世代も先を見据えた仕事にふれ、巧の技を後世に残していく必要を感じました」と話す喜安さん。古舞竹を編み、その両面に2カ月かけて土壁で塗り固めるなど、家は伝統の技法で時間をかけて改修されています。

そこで大切にしたのは、「この家と共に過ごしてきた思い」です。昔の話から、うぐいす張りの廊下を再現したり、お風呂場にあった明治期のタイルを書斎の壁に再利用したりするほか、バリアフリーにして両親が愛着ある家に住み続けられるようにするなど、建築家や職人の手で100年分の思いが拾い上げられています。

さらに、「離れ」の部分の改修は、学生の生きた学びの場となりました。取り壊しを検討していた離れの再生案を考えしたのは、河原デザインアート専門学校の学生たちです。プレゼンテーションを経て選ばれた若者ならではの案を基に工事が進められ、新たな憩いの場である書斎が生まれました。

多くの思いが詰まった家は、これからまた100年、新たな歴史を刻んでいきます。



1. 完成した家と喜安さん 2. お風呂のタイルを活用した「離れ」の壁。デザインだけでなく、工事にも学生らが関わった

発行／松前町
編集／広報編集委員会
発行日／平成27年7月1日

〒791-3192
愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
☎ 089-985-2111(代)

▼編集後記

岡田小学校5年生の田植えを取材しました。児童たちは田植え後、田んぼの水の管理について学習。「毎朝水を見に来る」「水を入れるか、入れないかを自分たちで判断して行う」という2つの使命を言い渡された瞬間、児童たちはそれまでの無邪気な笑顔が、キリッと責任感をもった大人の顔つきに変わりました。稲と一緒に、稲を見守る子どもたちも大きく成長していきそうです。(松田)

大人になり躊躇することが多くなりました。「先を見て最善の方法が分かるようになった」と言えば聞こえはいいですが、楽だけど楽しい方法を選んでいるのかもしれない。

田植えの取材。泥だらけで必死な姿の子どもの横で、最小限の汚れにしようとする私…。結局お尻も汚れるなら初めから躊躇せず、一緒に泥だらけになったほうが楽しかったなと感じた取材でした。(久保)

Proud!
Japan

※日本文化の発展を支援しよう

広告

松前町限定！出張費無料(要予約)
この広告を見たとお伝え下さい！

どこでお買い求め頂いた自転車でも
修理、整備、点検させて頂きます。**有効期限 27年8月31日まで**
一般車、電動アシスト車、小径、折り畳み、
ロードバイク、クロスバイク、MTB 取り扱い

じてんしゃ屋
株式会社エリートサイクルワークス
松前町西高柳 224-4
月～土 10AM～8PM
定休日 水曜日 日・祝 11AM～8PM
Tel 089-916-5441
Fax 089-916-5751
www.ecw.co.jp

有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
広告料 20,000円/枠(1カ月)
大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
カラー フルカラー

☎ 総務課広報情報係 ☎ 985-4132